【足羽川の利活用】

足羽川の自然に親しみ遊ぼう会

日　時　：　平成22年8月21日（土）　9:30～13:30

場　所　：　板垣橋下流

主　催　：　NPO法人ドラゴンリバー交流会

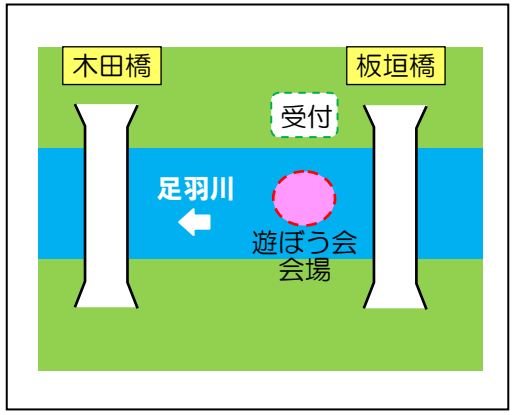
サポート：　福井県ネイチャーゲーム協会

後　援　：　河川課

参　加　：　親子9組22名

内　容

福井県ネイチャーゲーム協会指導のもと、親子で足羽川の自然に親しみ、自然の中にある素材で工夫して遊ぶことを目的に開催された。 参加者は、河川敷の草むらや川の中の生き物を探したり、葉っぱや石を使っての川遊びを楽しんだ。



案内チラシ

生き物観察に用いたチェックシート

親子で足羽川満喫

福井　水遊びや生き物観察

身近な自然の中で、二十一日、福井市の足羽川で繰り広げられた。市内外の親子計二十五人が参加し、魚やヨウ虫などを探したり、水物を観察しながら、石の色や形にも注目して散策した。

その後、散策中に見つけた生き物などを河川敷の石を使って表現し、お互いに何の形かを当て合った。アユに挑戦した大倉秀一朗君（3）＝あわら市芦原小学校＝は「石の大きさや形が合うように工夫した」と、弟やおじいちゃんと力を合わせて作り上げていた。（長谷川寛之）

河川敷の石を使い魚の形に石を積む親子ら＝福井市勝見2丁目の足羽川河川敷で

遊びしたりして足羽川の自然を満喫した。

川や自然を守る活動を展開するNPO法人ドラゴンリバー交流会が開いた。「足羽川自然いろいろ発見ウオーク」では、参加者が同市勝見二丁目の足羽川河川敷で、バッタやチョウ、アユなどの生きしたり、石の色や形にも注目して散策した。

町に生まれた。金沢市の旧制第四高等学校（現金沢大）の在学中から小説などの執筆を始めた。東京帝国大文学に入学後、本格的に小説家の道へ進み、「梨の花」「歌のわかれ」などの作品を残し、今も全国に熱心なファンがいる。（土屋晴康）

（H22.8.22）日刊県民福井